



グッドライフアワード

グッドライフのヒント・2015



環境と社会によいこと、
ここにつまっています

What's Good Lif





＼グッドライフアワードって？／

グッドライフアワードは、全国各地で「環境と社会に良いこと」に取り組むみなさんの活動を応援するためのアワードです。最優秀賞、優秀賞、グッドライフ特別賞には環境大臣賞が贈られます。

しかし、グッドライフアワードは賞だけのアワードではありません。

＼応募取り組みはすべて公式サイトで公開／

応募されたすべての取り組みは、さまざまな社会の課題解決への事例として、グッドライフアワードの公式サイト、及び公式Facebookページで紹介しています。

社会を変えるための取り組みは、より多くの方にその存在や内容を知っていただくことで、さらに大きな可能性が開けます。また、環境の変化や社会の状況に危機感を抱き「自分も何か始めたい」と考えている人たちにとって、みなさんの事例がヒントとなり、スタートを切る勇気を与えることができるかもしれません。

＼活動団体同士のつながりが生まれる／

Facebookはもちろん、表彰式と併せて行われるシンポジウムなどを通じて、活動団体同士の横のつながりが生まれます。応募や受賞が終了してもそのつながりは継続していきます。

グッドライフな活動をしている他団体とのつながりがあることで、情報の交換はもちろん「グッドライフ」という同じ志を持つ人たちとの心の交流が生まれます。それは活動の励みになっていくことでしょう。

＼メディアでの注目が活動を活性化／

第2回グッドライフアワードで環境大臣賞最優秀賞を受賞した『あきた森の宅配便』。代表の栗山奈津子さんに、受賞後の「変化」についてお話を伺いました。

「環境大臣賞を受賞してすぐに、秋田県知事にご報告することができ、地元紙などで取り上げていただきました。その後、全国ネットのテレビ番組も取材に来ていただけるようになり、秋田の天然山菜の魅力を知っていただくことができたと感じています」。

取材の度に山の名人のみなさんに出演をお願いすることを「大変かな」と心配していたという栗山さん。でも、おばあちゃんたちは「奈っちゃんに頼られて、こうしてテレビの取材を受けることが、また元気の素になる」と楽しんでいらっしゃるそうです。

＼応募は企業、NPO、任意団体だけでなく、個人でも／

グッドライフな取り組みを行っている企業、NPO、各種団体だけでなく、学校や個人でも応募は可能です。

グッドライフは身近なところにもあると思います。あなたのグッドライフを社会で広く共有することで、みんなのグッドライフにしていきませんか。



第2回

グッドライフ アワード

Good Life Award 2015



第2回グッドライフアワードは、2014年11月6日から2015年1月26日まで募集し、合計135件の応募がありました。ウェブ上での国民投票を経て、最優秀賞1件、優秀賞3件、グッドライフ特別賞6件が環境大臣賞を受賞されました。表彰式は2015年3月14日に東京大学伊藤謝恩ホールで開催。第1回に引き続き、全国各地から優れた取り組みが多数応募され、グッドライフの広がりを実感しました。





1



6



2



3



7



4



5



8



第2回グッドライフアワード
環境大臣賞 最優秀賞

天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分けっ！～

あきた森の宅配便

2回目の実施となった『グッドライフアワード2015』で環境大臣賞最優秀賞を受賞したのは『あきた森の宅配便』の『天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分けっ！～』でした。拠点は十和田湖に面した秋田県小坂町。雪解けの季節を迎えた山菜のふるさとを訪ねてきました！

秋田県鹿角郡小坂町

<http://www.akita-mori.com/>

<https://www.facebook.com/akitamori.takuhaibin>

- 1) 集合写真では緊張気味だった名人のみなさん。2) 雪解けとともに旬を迎えるふきのとう 3) 食卓の上にはたくさんの山菜料理が並びました！
4) 『あきた森の宅配便』代表の栗山奈津子さん。5) 採ってきた山菜を出荷する状態に整える 6) 50kgほどの山菜を背負って山を降りてくることもあるそう
7) おまがりたけのたけのこ 8) 天然のうど 右ページ)取材スタッフを迎えてくれた「山の名人」のみなさんと、代表の栗山奈津子さん。（2, 6, 7 撮影：小松ひとみ）



「山の名人」が採ってきた天然山菜をお届け！

『あきた森の宅配便』は、十和田湖がある秋田県小坂町周辺で採れた天然山菜のネットショップです。最近では、わらび、うどなどの山菜には栽培ものもたくさん出回っていますが、天然の山菜は野生ならではの豊かな風味があります。ただし、奥深い山に分け入って山菜を採取するのは、簡単なことではありません。

代表の栗山奈津子さんのまわりには、昔から生活の一部として旬の季節の山に入って山菜を採る伝統がありました。実のおばあちゃんであるキサさんをはじめ、ご近所のおじいちゃん、おばあちゃんが「山の名人」として、注文があった山菜を採ってきてくれるのです。さらにはクルマで30分ほど走った大館市内に『陽気な母さんの店』という農家さんが直販する店があり、70名ほどの農家のおかあさんたちも「山の名人」として協力してくれることになりました。

『陽気な母さんの店』の石垣一子会長は「通信販売でもものを見ないで買ってくれるんだから、めったに人が入らない山奥まで入って、とびきりおいしい山菜を採ってくるんだよ」と教えてくれました。たとえば、天然のねまがりたけは熊の好物でもあり「熊が食べるか人が採るかの競争だよ」とも。

天然山菜を採る場所は、名人それぞれの秘密で、家族にさえも詳しい場所は教えないとのこと。また、いくら注文があっても採り尽くしてしまうと次の年には採れなくなってしまいます。名人ならではの塩梅で山の恵みをいただいて届けてくれる、まさに「おすぞ分けっ!」と呼ぶのがふさわしいサービスなのです。

豊かな自然と、山の名人の元気が成功の秘訣！

秋田県小坂町は、鹿角盆地の北端に位置しており、十和田湖がある青森との県境の町。かつては小坂鉱山で栄え、最近では鉱山の技術を活かしたりサイクルの町として知られています。町の中心部から十和田湖へ登る道の周囲は深い森。まずは、豊かな自然に恵まれていることが『天然山菜採り代行サービス』が成功しているポイントです。

とはいえ、山菜が採れる森は日本のあちこちにあるはずですが、恵まれた自然環境に加えて、天然山菜採り代行サービスを支える山の名人のみなさんの存在が、この取り組みにはとても大切です。取材に伺った日には、奈津子さんの実のおばあちゃんである川口キサさんと、キサさんの三姉妹である中村イサさん、秋本ミヨさん。さらに、わらび採りが得意な畠山亮子さん、たけのご採り名人の川口光一さんが集まってくれました。

「私たちは普段はゆっくり歩くけど、山の中に入ったらカモシカみたいに速いんだぞ」という意味の言葉を地元の方言で話してくれたのは三姉妹の長女であるイサさん。名人たちの元気があってこそこの取り組みであると同時に、この天然山菜採り代行サービスが、名人のみなさんの楽しみにもなっているのです。

ちなみに、山の名人として協力してくれている大『陽気な母さんの店』も、平成19年度の『農山漁村女性チャレンジ活動表彰』で最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞しています。大好きなふるさとを元気にしたいという奈津子さんの思いが起点となり、そのために行動し、協力してくれる山の名人をはじめとするたくさんの人たちの協力が、この取り組みを成長させてきたといえるでしょう。



環境大臣賞 優秀賞・グッドライフ特別賞

グッドライフアワード2015の環境大臣賞は、最優秀賞「天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみをおすそ分けっ!～」(前頁参照)のほかに、優秀賞3点、グッドライフ特別賞6点が選ばれました。

日本各地から選ばれたプロジェクトは、それぞれ非常にユニークに「環境と社会に良い暮らし」に取り組んでおられます。

優秀賞

- 森と命を繋ぐ歩道橋「アニマルパスウェイ」の開発と普及
- クロマツお助け隊!東北に白砂青松をもう一度「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」
- 「希望の綿」福島オーガニックコットンプロジェクト

グッドライフ特別賞

- 市町村と企業の協働による「ウッドスタート」
- エコマジシャン ミヤモ
- キッチンから資源節約が見える化「ローフトフード」
- 英田上山棚田再生プロジェクト
- SATURN project
- 絶滅危惧種をすくう社会の仕組み：絶滅魚カワバタモロコ再生プロジェクト



環境大臣賞 優秀賞

森と命を繋ぐ歩道橋 「アニマルパスウェイ」の 開発と普及

アニマルパスウェイ研究会

私達が便利に利用している道路や鉄道などの連続する構造物により困っている動物達が沢山います。特に森の中を枝から枝を通り道としているニホンリスやニホンヤマネなどの樹上性の野生動物は、分断された森を行き来出来なくなると、遺伝子の劣化を招き、ロードキルに会うこともあります。当プロジェクトは余り顧みることが無いこれらの動物のための歩道橋「アニマルパスウェイ」を開発し、全国に普及する取組を行っています。

山梨県北杜市高根町

<http://www.animalpathway.org/>



環境大臣賞 優秀賞

クロマツお助け隊！ 東北に白砂青松をもう一度 「海岸林再生プロジェクト 10ヵ年計画」

公益財団法人オイスカ

東日本大震災で東北の海岸林は約3700haが被害を受けました。海岸のクロマツは、津波の力を減衰させる防波堤という役割だけではなく海の塩分や海岸の砂が風によって内陸に運ばれないよう、人々の手によって植えられ何百年も守られてきたものです。宮城県名取市の住民たちとともに100haの海岸林を再生させるべく、被災地住民の生計支援を兼ね、クロマツを種から育て、海岸に植える活動を行っています。

宮城県名取市

<http://www.oisca.org/kaiganrin/>

<https://www.facebook.com/OISCA>

環境大臣賞 優秀賞

「希望の綿」 ふくしまオーガニックコットン プロジェクト

特定非営利活動法人 ザ・ピープル



本プロジェクトは、東日本大震災後に福島県いわき市において、福島第一原子力発電所事故による風評被害・後継者不足等により農業を営んでいくことが難しくなった畑をお借りして、環境に配慮した方法でコットンを栽培しています。地元だけでなく延べ10,000人以上の援農ボランティアさんに支えられて、いわき市・広野町にある25か所の畑で在来種の茶綿を育て、さらに人形やタオルハンカチ等の商品を作るところまで行っています。

福島県いわき市

<http://fukushima-oc.jp/>

<https://www.facebook.com/foc.project>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

市町村と企業の協働による
「ウッズスタート」

認定NPO 法人
日本グッド・トイ委員会

子どもの健やかな成長と家族の安らぎを支えるために、暮らしや社会の中に木を取り入れ、木の力を借りることで推進するウッズスタート。市町村と企業にウッズスタート宣言をしてもらうことで、誕生祝品、学校机などの地産地消を促すことや、保育園・幼稚園、大型店舗、集合住宅などの内装木質化、赤ちゃん木育広場の設置などのインフラ整備を進め、健康と環境を志向する生活様式の確立とわが国の森林資源の活用を促します。

北海道、東京都、岐阜県、岡山県、熊本県、香川県、宮崎県、良品計画、アウディジャパン、三井不動産、三菱地所レジデンスなど

<http://mokuikulabo.info/>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

エコマジシャン ミヤモ

エコマジシャン ミヤモ

「マジックを通じた環境教育」 複雑で難解な環境エコ問題を、プロマジシャンという職業的観点から、マジックというソフトを利用して、分かり易く楽しく伝えていくというものです。様々な年齢層に応じて、マジックを通してエコについて考えよう! マジックを通してエコについて考えるきっかけにしたい! というコンセプトで活動中です!

東京都練馬区

<http://miyamomagic.jimdo.com>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

キッチンから 資源節約を見える化 「ローフード」

一般社団法人
スマート・ウィメンズ・コミュニティ

牛肉100gで水を550リットルも消費するって知ってますか？普段私たちが口にする食材は、ライフサイクルにおいてさまざまな環境負荷がかかっています。ローフードとは、LOW FOOTPRINTED FOODの略で私たちが考えた造語。食卓から、CO₂や水のフットプリントを削減できるように以下の取組みを行ってきました。

- 1) 食材のライフサイクルにおけるCO₂、水消費量をわかりやすく見える化。
- 2) 環境負荷の低い食材を使ったクッキング講座の開催、普及啓発など。

神奈川県横浜市

<http://yokohama-cruiz.org/> (連携サイト)

<https://www.facebook.com/smartwomens>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

英田上山棚田 再生プロジェクト

NPO 法人 英田上山棚田団

岡山県美作市の上山に広がる慶応年間から築かれた面積100ha、8,300枚の棚田。過疎高齢化により荒廃していましたが、2007年から地元住民と都市住民による草刈りと村に伝わる野焼きの復活により、2014年までに14haを再生しました。地域に息づく文化や伝統に加え、限界集落から新しい社会を創造するにあたり「独立国」を志し、再生可能エネルギーや地域医療等の拡充等を進め、他の中山間地域や台湾・ミャンマーなど海外との連携も深めています。

岡山県美作市

<http://tanadadan.org/>

<https://www.facebook.com/tanadadan>





環境大臣賞 グッドライフ特別賞

SATURN project

森田屋

江戸時代から呉服商を営み、戦後アパレルメーカーに転換した民間企業発のプロジェクトです。障害者自立支援法の施行と同時に、民間企業において茨城県初の障がい者への就労支援を開始しました。

施設利用者の社会との関わりの為に工場をオープン化し、洋服の製造工程で出る端切れを利用した商品の企画・販売、学校や美術館等で環境問題を身近に捉えるためのアートワークショップによる啓蒙活動、美術館やギャラリーで作品展示も行っていました。

茨城県笠間市

<http://moritaya11.web.fc2.com>

<https://www.facebook.com/ut4011>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

**絶滅危惧種をすくう
社会の仕組み：
絶滅魚カワバタモロコ
再生プロジェクト**

カワバタモロコ増殖・放流連絡会議

徳島県ですでに絶滅したと思われていた小型淡水魚カワバタモロコが2004年に再発見。これを再び絶滅させまいと、産官学民13部局が連携し、かかわる人や機関それぞれがメリットを見出させるように、絶滅危惧種を「多用途に使える県民の財産」と位置づけました。そして、研究・飼育・環境学習などに利用しながら数を増やし生息地に返すプロジェクトです。今では5機関で飼育。絶滅危惧種を守る社会的な"分業"の仕組みができました。

徳島県鳴門市、徳島市、阿南市

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2013040200079/>

実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

山川里海(やまかわさとみ)の 体験作文新作狂言

やまかわさとみ事務所

木曾三川流域の小中学生を対象に水源林の保全活動と体験作文セミナーを企画運営。集大成として、新作狂言を制作しました。

愛知県津島市



実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

新座っ子ぱわーあっぷくらぶ にいざネイチャークラブ

環境教育支援ネットワークきづき

四季折々の動植物の調査や黒目川の生物や水質調査などを通して「きづき」・「共有」・「振り返り」を重視した活動を行います。

埼玉県新座市



実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

未来の地球を守るのは ぼくたち! わたしたち! おびひろ 環境にやさしい活動実践校

おびひろ環境にやさしい活動実践校

帯広市では、「環境にやさしい活動実践校」を認定。現在、小学校11校、中学校14校、市立高校1校が認定されています。

北海道帯広市

<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shiminkankyoubu/kankyoka/>



実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

学生が発信! 食べ物の「もったいない」を知って、 学んで、減らそうプロジェクト

フードバンクかごしま学生チーム

家庭内からの「食品ロス」削減広く一般市民に周知するために、鹿児島県内の大学生を中心に新しいアイデアで取り組みます。

鹿児島県鹿児島市

<http://ksnk.org>

<https://www.facebook.com/foodbank.k>



実行委員会特別賞

実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

キャニオングで世界をリフレッシュ

株式会社キャニオンズ

カラダひとつで滝を下っていくスポーツ【キャニオング】。都会の人々に、自然との一体感や達成感を味わってもらいます。

群馬県みなかみ町

<http://www.canyons.jp>

<https://www.facebook.com/Japan.Canyons>



実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

表浜 BLUEWALK

虹のとびら 表浜ブルーウォークグループ

愛知県表浜海岸の約50km を楽しみながら、学びながら真夏に清掃する活動です。8年間でのべ8000人が参加！

愛知県豊橋市および愛知県田原市

<http://nijinotobira.org/>

<http://www.facebook.com/omotehamabluewalk>



実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

子育てのお母さんを支援しよう！

静岡市沼上資源循環学習プラザ

マタニティウェア・ベビー服・子供服などのリユースマーケットを平成23年から開催。延べ4587人の市民が利用しました。

静岡県静岡市

<http://www.shizuoka4r.jp/numagami/>



実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

エコ民家におけるエコライフ実践

滋賀県立大学まちづくり研究室(鶏飼研究室)

彦根市石寺町下石寺集落のエコ民家で、里山バイオマス利用拠点として集落住民と連携、里山資本主義を実践しました。

滋賀県彦根市

<http://www.eco-minka.com/>

<https://www.facebook.com/ecominka>



実行委員会特別賞「環境と福祉」特別賞

「MOTTAINAI」で 安心・安全な循環型社会を実現

一般社団法人中央ライフ・サポートセンター (CLSC)

未消費のまま廃棄される食品を福祉活動に寄付するなどして食品ロスを減らす活動に取り組みます。

群馬県前橋市

<http://clsc.web.fc2.com/>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭

陸奥湾の高温からホタテを守る植樹祭実行委員会

ホタテ貝をへい死から守ろうと、陸奥湾の周りに広葉樹を植える活動です。

青森県平内町

<http://preserve.shirakami.gr.jp/>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

震災で失われた 松島湾のアマモ場再生

松島湾アマモ場再生会議

湾全体の生態系や海的生活文化再生を目的とし、東日本大震災により壊滅したアマモを再生させる活動です。

宮城県松島湾

(塩竈市・東松島市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町・松島町)

<http://matsushima-amamo.jimdo.com/>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

PresentTreein宮古 ～森・川・海と人が共生する森づくり

認定NPO 法人環境リレーションズ研究所

漁場復興と地元振興を目指し、地元民と都市部住民で「森・川・海と人が共生する森づくり」を実施。約18,000本を植樹しました。

岩手県宮古市

<http://www.presenttree.jp>

<https://www.facebook.com/presenttree2005>



実行委員会特別賞

実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

福島県いわき市の耕作放棄地を元に戻し地域コミュニティを再生!

特定非営利活動法人 green bird

福島県いわき市の耕作放棄地で、現地と東京からのボランティアが共に作物を作り、地域コミュニティを再生強化していきます。

福島県いわき市久ノ浜

<http://www.greenbird.jp/>

<https://www.facebook.com/greenbird.page>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

帰りたくなる。「おかえり」の待つ佐渡島へ。

早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス REC

新潟県佐渡市の自然環境を活かした地域活性を目的として活動。佐渡旅、島・羽二生集落で防波堤アートやビオトープ整備など。

新潟県佐渡島

<http://www.rodorigues.com/>

<https://www.facebook.com/rodo.jp>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

カシニワ制度

柏市

荒れた林やの空き地を、市民団体会の手で地域共有の庭に甦らせたり、自分の庭を一般公開する取り組みを市がサポートします。

千葉県柏市

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/living/>

[living_environment/1384/1387/](http://www.city.kashiwa.lg.jp/living_environment/1384/1387/)



実行委員会特別賞「環境と企業」特別賞

郷土の森づくり

新日鐵住金株式会社

各地の製鉄所で「郷土の森づくり」を推進。近くの歴史ある神社の土地本来の自然植生を調べ、鎮守の森を製鉄所構内に再現しました。

大分製鉄所をはじめとする国内16事業所

<http://www.nssmc.com/csr/social/forest.html>



実行委員会特別賞「環境と企業」特別賞

くぬぎの森再生プロジェクト

石坂産業株式会社 やまゆり倶楽部

三富地域の自然環境保全推進を目的に、農家が利用していた里山を「自然体験の場の場」として新たな里山になりました。

埼玉県入間郡三芳町

<http://www.kankyo-school.com/>

<http://www.yamayuri-club.com/>

<https://www.facebook.com/567787296595267>



実行委員会特別賞「環境と企業」特別賞

世界遺産五箇山合掌造り集落の茅場再生

NEXCO 中日本グループ

地域を知り、その地域の課題解決に向けて、グループ社員がボランティアとして参画し応援するプロジェクトです。

富山県南砺市菅沼集落、楮集落

http://www.c-nexco.co.jp/corporate/csr/social_report/society/page03.html



実行委員会特別賞「環境とデザイン」特別賞

水府コイノボリプロジェクト 「SCOI-スコイ-」

水府コイノボリプロジェクト

「鯉のぼりまつり」で処分される鯉のぼりを活用し、シッポから頭までアートしよう! と始まったプロジェクトです。

茨城県常陸太田市

<http://hitachiota-air.com/>

<https://www.facebook.com/air.hitachiota>



実行委員会特別賞「環境とデザイン」特別賞

民族衣装サリーの アップサイクルプロジェクト

VEGANIE

人口12億人のインドで廃棄されているサリーを利用した商品製作。製作は貧困地域の女性が担当製作するなどしています。

東京都港区、インドカルカッタまたはデリー

www.veganie-shop.com

<https://www.facebook.com/veganieshop>



実行委員会特別賞

実行委員会特別賞「環境と食農」特別賞

猪鹿庁

猪鹿庁

鹿や猪を害獣ではなく地域資源と考え、6年前に猟師の免許を取得し、里山保全組織「猪鹿庁」を設立。『里山と生きる』が理念です。
岐阜県郡上市

<http://inoshika.jp/>
<https://www.facebook.com/inoshikatyo>



実行委員会特別賞「環境と食農」特別賞

北加賀屋みんなのうえん

NPO 法人Co.to.hana

まちなかの空き地を使った、「みんなが力を合わせて育てていく農園」。農や料理、ものづくりの専門家と連携しています。

大阪府大阪市
<http://minnanouen.jp/>
<https://www.facebook.com/minnanouen>



実行委員会特別賞「環境と食農」特別賞

**本州の最北端で
「死んだ畑」復活を叫ぶ
～耕作放棄地再生事業～**

SHIMOKITA HOPE FARMER PROJECT

「耕作放棄地」の割合が東北地方の中でも非常に高い青森県下北半島で、耕作放棄地再生事業を行う活動です。

青森県むつ市及び青森県下北半島
<https://www.facebook.com/shimokitahopefram>



グッドライフアワード2015 シンポジウム&表彰式

2015年3月14日(土)、東京都文京区の東京大学構内にある『伊藤謝恩ホール』にて『グッドライフアワード2015シンポジウム&表彰式』が開催されました。

会場には、環境と社会を変えていく活動に関心をもつたくさんの方々にご来場いただき、大いに盛り上がりました。



多彩なゲストによるディスカッション1

『ディスカッション1』には、『里山資本主義』の共同著者でNHK チーフプロデューサーの井上恭介さん、島根県海士町復興のキーパーソンとして活躍する『株式会社巡の環』の阿部裕志さん、環境問題への関心が高いタレントのはなさんなど多彩なゲストが参加。第一回アワードで最優秀賞を受賞した『三陸ボランティアダイバーズ』代表の佐藤寛志さん、優秀賞を受賞した『楠クリーン村』を運営する『学生耕作隊』理事長の高田夏実さんも交え、有意義なディスカッションとなりました。

候補者プレゼンテーションと表彰式

続いて候補取り組みの代表者によるプレゼンテーションが行われました。10の取り組みは、地域の問題点や特性によってユニークな視点から、エコ&ソーシャルな課題の解決を目指すものばかり。それぞれの取り組みを代表して会場に集まった人たちからも「参考になった」「刺激を受けた」といった声が聞かれました。そして、いよいよ表彰式です。今回最優秀賞を受賞したのは『天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分けっ!～』（あきた森の宅配便）でした。おめでとうございます！

受賞者とゲストが共に語り合うディスカッション2

最優秀賞、優秀賞の受賞取り組み代表者4名と、井上恭介さん、阿部裕志さん、そして、実行委員を代表して国立環境研究所主任研究員の藤野純一さんによる『ディスカッション2』が行われました。『天然山菜採り代行サービス』に対して「代行という概念がすばらしい!」と海士町の阿部さんが評価するなど、今後、全国でさまざまな活動を展開する人たちにとっても必見の有意義な内容でした。

終了後には懇親会も。

『シンポジウム&表彰式』終了後は、ホール内のスペースで受賞者や実行委員のみなさんがフランクに語り合う『懇親会』も催されました。グッドライフアワードのスローガンでもある「みんなの力で社会を変える」ために大切なことが何なのか。また、それぞれの活動に取り組む人たちの情報交換がいかに大切かといったことが、改めて感じられる催しとなりました。

第1回

グッドライフ アワード

Good Life Award 2014



記念すべき第1回グッドライフアワードは、2013年12月9日から2014年2月3日まで募集し、合計147件の応募がありました。ウェブ上での国民投票を経て、最優秀賞1件、優秀賞3件、グッドライフ特別賞6件が環境大臣賞を受賞されました。表彰式は2014年3月21日に六本木農園で開催。まだ生まれたてのアワードにも関わらず、多数の応募が寄せられ、環境と社会への関心の高さを感じました。





第1回グッドライフアワード
環境大臣賞 最優秀賞

三陸の海を取り戻せ！ (三陸沿岸部復興・保全活動)

三陸ボランティアダイバーズ

第1回グッドライフアワードで最優秀賞を受賞した、岩手県大船渡市などを中心に海底の震災がれき撤去作業などを続けている『三陸ボランティアダイバーズ』。2014年9月の休日。この日も全国各地からボランティアのダイバーが集まって作業をするということで、取材に行ってきました。

岩手県大船渡市、釜石市、大槌町、宮城県女川町、石巻市、気仙沼市

<http://sanrikuvd.org/>

<https://www.facebook.com/sanrikuvd>

1) この日集まったボランティアのダイバーと綾里漁協小石浜漁港の漁師さんたち。2) 2011年5月。漁港には船を着けるのも大変な状態でした。
3) グッドライフアワード最優秀賞受賞も活動発展の契機に！4) 震災直後の海底には、被災地の生活が押し流されていました。5) 取材時の参加者のみなさん。
右ページ) 清掃活動中。海の中の様子 (写真提供：塩崎仁美)



この川に、鮭が戻ってこられるか？

『三陸ボランティアダイバーズ』の代表者は、陸前高田市内でダイビングショップを構える佐藤寛志さん。東日本大震災が発生した時は、海外で仕事をしていました。大震災の発生と津波被害のニュースを知って急遽帰国。三陸に戻ってみると、津波被害の惨状が広がっていました。

「この川に、鮭が戻ってきてくれると思うか？」「この港で水揚げされた魚を、自信をもってたくさんの人に食べてもらえるか？」大船渡市で漁業に携わる親戚は、漁船が打ち上げられて荒れ果てた港や河口の風景を前に、途方に暮れるばかりの様子だったといいます。鮭が戻ってくるはずの河口はがれきの山に埋もれ、漁港の湾内やホタテやワカメ、ホヤといった自慢の海産物の養殖エリアの海底にもたくさんのがれきが沈んでいました。

「よし、ダイバーである自分が潜って、海底のがれきを清掃しよう」。佐藤さんの決心が『三陸ボランティアダイバーズ』のスタートになりました。

がれき撤去だけでなく、養殖漁業のサポートも！

海底がれきの撤去作業には全国各地からダイバー仲間が集まってくれるようになり、佐藤さんは継続的な活動を続けていくためにNPO法人『三陸ボランティアダイバーズ』を設立。活動を広げてきました。

湾内などの海底清掃を始めたのは震災発生から1カ月ほどが過ぎた頃のこと。海の底には被災地で暮らしていた人たちの生活が押し流されていました。そんな中、三陸ボランティアダイバーズは、地道に海底がれきの撤去を続けてきました。

しばらくすると、養殖エリアの海底がれき清掃が進んでホタテやワカメなどの養殖が再開されました。三陸ボランティアダイバーズは、漁師さんたちからの要請に応じて、養殖施設の修復や、ホヤ養殖を再開するための親ホヤ採取などの海中作業を手伝うようになりました。海底がれきの撤去に加え、漁業のサポートを行うようになったことで、三陸ボランティアダイバーズの活動はさらに広がっていきました。

がれき清掃や漁業サポートのために潜るのは、実はダイバーにとってもやりがいのあることでした。海中の風景や生物を探索するだけのダイビングより、むしろ「楽しい」と気付くことができたのです。楽しみながら役立つこと。それが、三陸ボランティアダイバーズの活動が継続する為の最大のポイントです。

役立つダイビングを楽しめること！

漁師さんとの信頼関係を築くことができたのも、活動がうまくいっている大切なポイントです。もともと、漁師さんにとってダイバーは「密猟者」とさえ思われている存在でした。綾里漁協に佐藤さんの親戚がいたことをきっかけにして、三陸ボランティアダイバーズが地道に活動を続けてきたことで、多くの漁協で、たくさんの漁師さんたちとの信頼関係を築くことができたのです。

第1回のグッドライフアワードで最優秀賞を受賞したことで「初めて顔を合わせる漁師さんにも私達の活動を理解してもらいやすくなりました」と佐藤さん。最近では、三陸での漁業サポートを続けながら、海の価値をたくさんの人に知ってもらうための講演活動などにも取り組んでいるそうです。



環境大臣賞 優秀賞・グッドライフ特別賞

第1回グッドライフアワードの環境大臣賞は、最優秀賞「三陸の海を取り戻せ！（三陸沿岸部復興・保全活動）」（前頁参照）のほかに、優秀賞3点、グッドライフ特別賞6点が選ばれました。はじめてのアワードに日本各地から多くの取り組みが寄せられました。日本各地で「環境と社会に良い暮らし」が芽吹きました。

優秀賞

- やまぐち食べきっちよる運動 ～おいしく、ぜんぶ、たべちゃろう～
- 「世界の宝石ー瀬戸内海」を磨く ～ごみのないきれいな海を未来の子供に手渡す取り組みの実践～
- 田舎でシュウカツ ～自然エネルギーで生活する楠クリーン村へようこそ～

グッドライフ特別賞

- 「シンプルライフ五箇条」と「シンプルライフ家計簿」でグッドライフをめざせ
- おかえりやさいプロジェクト
- 世界をお買いものでハッピーに！ ～ Re DESIGN PROJECT（リデザインプロジェクト）～
- 自然に抱かれて生きる 豊岡の新しい暮らし方
- リサイクル・ボランティア・コミュニティ ～みんなで作る民間図書館
- Stand for mothers 親子GOMI拾いプロジェクト



環境大臣賞 優秀賞

やまぐち食べきっちよる運動 ～おいしく、ぜんぶ、たべちゃろう～

山口県食品ロス削減推進協議会

山口県内で発生する食品廃棄物は年間18万トン。このうち、6.1万トンがまだ食べられるのに捨てられている“食品ロス”です。家庭や飲食店等のわたしたちの「暮らし」に身近なところから4.9万トンの廃棄物が排出されています。（平成22年度山口県調査）

山口県食品ロス削減推進協議会では、外食時や家庭での食べ残しなどを減らし、食材を“おいしく、ぜんぶ、食べきる”「やまぐち食べきっちよる運動」として次の取組を全県的に展開しています。

山口県全域

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15700/24shokuhin/24shokuhin.html>

<https://www.facebook.com/yamaguchi.syokurosu>



環境大臣賞 優秀賞

「世界の宝石—瀬戸内海」を磨く ～ごみのないきれいな海を未来の 子供に手渡す取り組みの実践～

特定非営利活動法人
グリーンパートナーおかやま

明治の頃ごみのない瀬戸内海は外国から訪れた人々もその風景を絶賛していました。風景のみでなく、海自体も綺麗でした。私たちは、再びこの美しい瀬戸内海を取り戻すことを考え、「海ごみの現場を理解して貰うための普及啓発活動」「海ごみの流れる元を断つための清掃活動」「海底ごみの持続可能な回収処理を目指した関係者間のネットワークづくり」に取り組んでいます。

岡山県岡山市南区

<http://green-partner.jimdo.com/>

<https://www.facebook.com/GPOkayama>



環境大臣賞 優秀賞

田舎でシュウカツ ～自然エネルギーで生活する 楠クリーン村へようこそ～

楠クリーン村

楠クリーン村は、田舎から発信する第六次産業と自給自足の農ライフスタイルのモデルを目指しています。耕作放棄地だったお茶山畑を開拓し、セルフビルドで建てた小屋や倉庫でお茶作り・野菜やブルーベリー作り、和牛の放牧に取り組みを始めて7年。いまは堆肥を自前でまかない、無農薬・無科学肥料のフカフカ土を手に入れて、循環型農業のかたちに少しずつ近づいています。

山口県宇部市

<http://www.kousakutai.net/>

<https://www.facebook.com/kousakutai>





環境大臣賞 **グッドライフ特別賞**

**「シンプルライフ五箇条」と
「シンプルライフ家計簿」で
グッドライフをめざせ**

特定非営利活動法人
シンプルライフ普及センター

人類にとっての「よい暮らし」とは、地球から与えられた以上に消費せず、また作り出したモノがふたたび地球の命へ合流して循環することを願い、感謝する日々の営みでなければなりません。そこでいま、私たちNPO法人シンプルライフ普及センターは、「シンプルライフ五箇条」と「シンプルライフ家計簿」を提案します。

静岡県伊東市

http://homepage2.nifty.com/e-simplelife/140927_kakeibo.houkokukai001.html

環境大臣賞 **グッドライフ特別賞**

おかえりやさいプロジェクト

個人(リーダー他市民会議に参加した市民)、企業(収集運搬業者、再生利用事業者、小売業者、ホテル、産廃業者など)、NGO(社団法人)、行政(名古屋市)、農家、地域コミュニティ(雁道商店街コミュニ

名古屋市は1999年にごみ非常事態に陥り、ごみの減量に真剣に取り組みました。その後、市民・事業者・行政が参加して「名古屋市第4次一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。「おかえりやさいプロジェクト」は、このとき「生ごみ循環を言いつばなしにしないで、自ら取り組もう」と思った有志を母体に2008年2月に発足しました。私たちは「おかえりやさい」が地域ブランドになることで、生ごみ食品資源循環の環を市民に可視化することを目指しています。

愛知県名古屋市

<http://okaeri.n-kd.jp>

<https://www.facebook.com/pages/おかえりやさい-プロジェクト/1521074371450283>

環境大臣賞 グッドライフ特別賞

世界をお買いもので
ハッピーに！

～ Re DESIGN PROJECT ～

ユニー株式会社

使われず廃棄されてしまう未利用資材(生地など)を使い、デザインを専門に学ぶ学生がデザインした商品を、障がい者が生産し、ユニーの店舗で販売するものです。この商品はファッション性・機能性に優れたエコ商品であり、障がい者へのチャリティーではなく、「私の好きなエコ商品」として購入していただきます。ユニーは商品を販売すること、お客様はお買いものをするすることで、地域貢献・社会貢献ができます。「地球」「若者」「障がい者」とお客様、皆がお買いものを通じてつながりあいハッピーに！

全国の【アビタ】限定店舗

《ユニー株式会社(本社：愛知県稲沢市)》

<http://mokuikulabo.info/>



廃材は資源の宝庫と、お買い物を楽しくつなぐために。
Re DESIGN PROJECT



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

自然に抱かれて生きる
豊岡の新しい暮らし方

豊岡市

豊岡市は、コウノトリ野生復帰の取組みから、環境と経済の共鳴するまちを目指しています。東北大学大学院環境科学研究科の石田秀輝教授・古川柳蔵准教授と共同で、2030年、化石燃料が不足などの環境制約が悪化し、現在のように便利な生活ができなくなる。その中で、我慢して毎日を送るのではなく、制約の中で、自然の技術も取り入れ、豊岡市民が、ワクワクドキドキ暮らすにはどうしたらよいかを市の若手職員7名と市内企業の6名で、バックキャスト手法で検討しました。

兵庫県豊岡市

<http://www.city.toyooka.lg.jp/www/contents/1391134056204/>





環境大臣賞 グッドライフ特別賞

リサイクル・ボランティア・
コミュニティ
～みんなで作る民間図書館

NPO 法人 情報ステーション

僕らが作る民間図書館は、ただ本を借りるだけでなく、「みんなで寄贈本を持ち寄り」「みんなが交代で窓口に立ち」「誰でも気軽に利用できる」地域の交流空間です。年間2万冊に及ぶ寄贈本を受け付けております。もちろん、大切な本はずっと手許に置いておきたいと思うでしょう。しかし、小説などを中心に一度読んだ本はなかなか読み返す事も無く、本棚に眠り続け、引っ越しなどの機会にまとめて廃棄される事が多いのではないのでしょうか？ 皆さんの寄贈本を地域みんなでシェアしようというリサイクル図書館です。

千葉県船橋市を中心

<http://www.infosta.org/>

<https://www.facebook.com/infosta>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

Stand for mothers
親子GOMI拾いプロジェクト

一般社団法人Stand for mothers

「子どものころからゴミ拾いしていれば、ごみを捨てる大人にはならない！」という、一人のママの気づきと思いをきっかけに、2012年11月より、渋谷区や堂々とゴミ拾いする人を増やす運動を続ける団体「GOMIファンタジスタ」と共に、子どもとママ、パパと一緒に渋谷の街のゴミ拾いを毎月1回実施している、親子のまなびプロジェクトです。本や口で教えるのではなく、カラダで、親子一緒にやって覚える教育の大切さを知り、さらにfacebookなどで活動を知った他の地域のママたちも、同じような活動を始め、全国に広がろうとしています。

東京都

<http://sfma.jp/>

<https://www.facebook.com/standformothers/>

審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

特産でeco&smile

兵庫県立篠山東雲高等学校

篠山市の特産品山の芋を改良し、グリーンカーテンにも活用。
市内の全幼・小・中学校で設置、公共施設や市役所とも連携。

兵庫県篠山市福住

<https://www.facebook.com/yamanoimoGC>



審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

移住女子発! 中山間地域発信 プロジェクト ChuClu (ちゅくる)

移住女子ちゅくる編集部

“移住女子”の「よそ者・若者・バカ者・女子」視点で「中山間地域のくらしの発信し、中山間地域を次世代につなぐ事」を目指します。

新潟県長岡市ほか

<http://inacollege.jp/iju-joshi/>

<https://www.facebook.com/chuetsu.intern>



審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

エコパークで地域資源のリサイクル

地域コミュニティ 御前崎エコクラブ

行政と地域住民団体が協働で維持管理を行い、手づくり公園
日本一を目指します。22,000m²の公園を10年かけて再生。

静岡県御前崎市

<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki/ecopark>



審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

週休4日は畑で自給100%を目指し、 更にアジアとコラボ- 旅館・吉田屋

旅館吉田屋

営業は週末(金土日)の3日間のみ。残りの4日間で若者は畑に。
国境を超えたコミュニティ活動でアジアと協働しています。

島根県大田市温泉津町

<http://www.lets.gr.jp/yoshidaya/>



審査委員特別賞

審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

命をつなぐPROJECT

命をつなぐPROJECT 学生実行委員会他

知多半島臨海部の工場地帯に、工場群と住宅地を公害の緩衝地帯となる森「グリーンベルト」をつくる取り組んでいます。

愛知県知多臨海部の企業の森

<https://www.facebook.com/inotitunagu>



審査委員特別賞「環境と企業」特別賞

**社内エコポイント制度
「Me - pon (ミーポン)」**

前田建設工業 CSR・環境部

社員などが取り組んだ環境に配慮した活動に対して、環境配慮商品(エコ商品)と交換できる、「エコポイント」を会社が付与する制度です。

社員の家庭

<http://me-pon.net/>



審査委員特別賞「環境と企業」特別賞

KAMIDECO

山陽製紙株式会社

企業で不要になったコピー紙を回収し、100%再生紙を作り、紙製品にして回収元の企業様や、一般のお客様に提供しています。

大阪府泉南市

<http://kamideco-web.jp>

<https://www.facebook.com/KAMIDECO>



審査委員特別賞「環境と企業」特別賞

**NEC 田んぼ作りプロジェクト
with アサザ基金**

NEC CSR・環境推進本部 CSR・社会貢献室

30年以上にわたって耕作が放棄されてきた谷津田を再生、無農薬・無化学肥料での稲作で「100年後にトキの野生復帰」を目指します。

茨城県石岡市東田中地区

<http://jpn.nec.com/community/ja/environment/tanbo/>

<https://www.facebook.com/necmdd>



審査委員特別賞「環境と暮らし」特別賞

ウッドプランターズ

個人

間伐材を使うウッドプランターは森林保全の役に立ちます。野菜作りを楽しみながら森林保全活動に貢献することが目的です。

群馬県前橋市

<http://clsc.web.fc2.com/>



審査委員特別賞「環境と暮らし」特別賞

竹粉で生ごみたい肥を作ろう!

静岡市沼上資源循環センター啓発施設

自然界の問題と生活上の問題をあわせて処理する目的で、タケから竹粉を作り、生ごみに混ぜて分解させる手法に取り組みます。

静岡市沼上資源循環センター啓発施設

<http://www.shizuoka4r.jp/>



審査委員特別賞「環境と暮らし」特別賞

壊さず、手渡す。 「中古住宅エコロジー」のススメ —「イマ・アル住宅」で暮らそう!

静岡不動産流通活性化協議会

循環型社会の実現をめざし、「中古住宅エコロジー」をコンセプトに掲げます。現在、16 団体で協同し活動中。

静岡県静岡市

<http://www.s-kyo.com/>



審査委員特別賞「環境と食農」特別賞

鳥獣害問題解決策としての 狩猟肉利活用

株式会社椿説屋、大分狩猟肉文化振興協議会、各処理施設

狩猟肉の利活用を推進し、主に里山で問題となる鳥獣害問題の解決策とします。雇用創出、新たな食文化を提案しています。

大分県大分市

<http://chinzeiya.com/>



審査委員特別賞

審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

土佐山アカデミー

NPO 法人土佐山アカデミー

地域内外から多様な人々が集う「学びの場」を目指し、ワークショップから長期滞在まで、多彩なプログラムを実施しています。

高知県高知市土佐山

<http://tosayamaacademy.org/>

<https://www.facebook.com/tosayamaacademy>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

体操服! 「いってらっしゃい、おかえりなさいプロジェクト®」

tiopro 実行委員会

着られなくなった「古い体操服」をまささらな「新しい体操服」に生まれ変わらせて、学校に返すプロジェクトです。

京都市をはじめとして日本全国の学校参加に向けて活動中



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

普通の人々が、当たり前のように森づくりに関心が持てる社会をつくる

NPO 法人森のライフスタイル研究所

森を知らない多くの人々に対して、森への無関心をなくすため、「楽しさ」を取り入れた多彩な活動を提供します。

長野県佐久市、木島平村や千葉県山武市など

<http://www.slow.gr.jp/>

<https://www.facebook.com/moridukuri>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

エネルギーを上手に使おう! プロジェクト

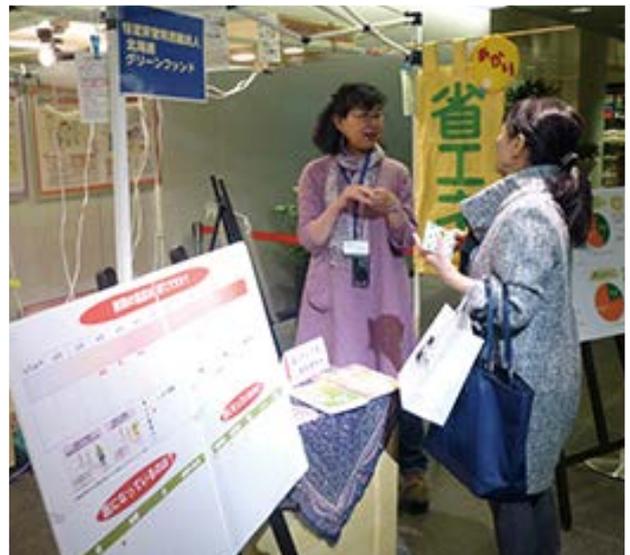
NPO 法人北海道グリーンファンド

少ないエネルギーで快適に暮らせる仕組みづくり構築のため「旅するエネセン(エネルギー情報センター)」で活動しています。

札幌市

<http://www.h-greenfund.jp/>

<https://www.facebook.com/h.greenfund>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

Eco-Campus Project for Next Iwate University

岩手大学環境マネジメント学生委員会

岩手大学環境マネジメント学生委員会(EMSC)による教職員と協働した学生主体の「エコ・キャンパス」創りを行っています。

岩手県盛岡市

<http://emsc.jimdo.com/>

<https://www.facebook.com/emsc.iwate>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

地球温暖化から農業を守る 農業高校生の挑戦

静岡県立富岳館高等学校 環境科学研究部

植物成長調節物質 AHX をチップにしてトマト栽培等に利活用。AHXチップ区の収量は無処理区の1.4倍、糖度も高まりました。

静岡県富士宮市

<http://www.fugakukan-h.sakura.ne.jp>



審査委員特別賞「環境と福祉」特別賞

食の「もったいない」を「ありがとう」に変えるプロジェクト

NPO 法人フードバンクかごしま

フードバンク活動を通じて、企業や個人から廃棄食品を無償で提供してもらい、食に困っている人達に無償で届ける活動です。

鹿児島県鹿児島市

<http://ksnk.org/>

<https://www.facebook.com/foodbank.k>



審査委員特別賞「環境と福祉」特別賞

西友のフードバンク活動

合同会社 西友

賞味・消費期限到来前の品質に問題のない、まだ食べられるもったいない食品を、食品を必要としている福祉施設等に寄付します。

関東(東京、埼玉、群馬)の52店舗を中心に

<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/activity/community2.php>



審査委員特別賞

審査委員特別賞「環境とデザイン」特別賞

「木を伐って、木を燃やそう、木を使おう、木で作ろう、木で遊ぼう、そして木を植えよう」森の循環復活プロジェクト

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

植林ではなく間伐に重きを置いた森林保全整備活動を軸に、「間伐先にありき」では無く、間伐材の”出口”を模索します。

活動拠点：宮城県栗原市・仙台市周辺・南三陸町

<http://www.fs-genki.com>



審査委員特別賞 ピックアップ特別賞

うどんまるごと循環プロジェクト

うどんまるごと循環コンソーシアム

うどん残渣でバイオエタノールを作りうどんを茹で、バイオガスで発電し、残渣を液肥にして小麦栽培、という再生の輪をつくります。

香川県高松市

<https://www.facebook.com/udon0510>



審査委員特別賞 ピックアップ特別賞

只見奨学米プロジェクト

株式会社奨学米

農家がお金ではなくお米を提供して、学生を食生活の面からサポートする新しい仕組みです。

福島県只見町

<http://syougakumai.com/tadamipj.html>

<https://www.facebook.com/syougakumai>



グッドライフアワード実行委員会

グッドライフアワード実行委員会は、アワードの主旨に賛同いただいている、環境と社会により活動に関わる分野でご活躍中の有識者の集まりです。実行委員会はグッドライフアワードの厳正な選考を行います。また、応募、受賞したプロジェクトが世の中に広がっていくためのサポートなど「グッドライフ」が日本全国に広がるよう、さまざまなかたちでご協力をいただきます。



山本良一 実行委員長

地球温暖化はますます深刻な状況になりつつあります。わたしたちは、真剣に社会を変える気概をもつべき時になっているのです。地球の環境を守りつつ、社会を変える意気込みをもち、アグレッシブに広がろうとする取組の応募に期待しています！

東京都市大学特任教授、国際基督教大学客員教授、東京大学名誉教授、東京大学国際・産学共同研究センターセンター長、エコマテリアル・フォーラム名誉会長、環境経営学会会長、日本LCA学会会長、環境効率フォーラム会長、エコプロダクツ2015実行委員長等。



大葉ナナコ 実行委員

最近生まれた孫が85歳になると22世紀が訪れます。美しい日本を、地球を、22世紀の子どもや孫たちの世代に渡していけるように、未来を愛する気持ちが感じられる取組を応援したいですね。

株式会社バースセンス研究所代表取締役、バースコーディネーター、公益社団法人誕生学協会代表理事、ベビー & バースフレンドリー財団 代表理事。2003年にバースセンス研究所、2005年に日本誕生学協会を設立。自尊感情を高めるいのちの教育プログラム「誕生学」が行政、学校、PTA、企業等に好評を博す。



炭谷茂 実行委員

福祉、雇用、街づくり。解決すべき課題はさまざまですが、全国各地を訪れると、ユニークな素晴らしい活動と出会うことが少なくありません。「ここにしかない」取組を日本中に広めるためにも、ぜひ応募してください。

社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長。2001年環境省官房長、地球環境局長、2002年総合環境政策局長、2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。2008年より現職。環境福祉学会会長、日本ソーシャルインクルージョン推進協議会代表、ソーシャルファームジャパン理事長、人権文化を育てる会代表世話人等。



中井徳太郎 実行委員

2015年7月17日に決定した「日本の約束草案」では、2030年には温室効果ガス排出を2013年比26%減とする目標が発表されました。この数字は、2050年に温室効果ガス排出を80%減とするための通過点です。環境・生命文明社会を実現していくために、社会にイノベーションをもたらすような取組の応募に期待しています。

環境省大臣官房審議官。東京大学法学部卒業。大蔵省(当時)入省後、主計局主査などを経て、富山県庁へ出向中に日本海学の確立・普及に携わる。財務省広報室長、財務省主計局主計官(農林水産省担当)、環境省総合環境政策局総務課長、大臣官房環境政策官兼秘書課長等を経て、2014年7月より現職。



藤野純一 実行委員

3年目を迎えるグッドライフアワード。いままでの取り組みもご参考に、きらりと光るユニークなグッドライフの取り組みから、普通の生活から生まれる何気ないグッドライフな取り組みまで、ご応募お待ちしております！

国立環境研究所 主任研究員。東京大学工学系研究科博士課程修了後、2000年より国立環境研究所。AIMプロジェクトメンバー。「環境未来都市」構想有識者検討会委員、「いたてまでいな復興計画推進委員会」委員、ICLEI 日本顧問等。2015年よりIGESシニアフェロー。主著書に「低炭素社会に向けた12の方策」(日刊工業新聞社)、「みんなの未来とエネルギー」(文溪堂)。



益田文和 実行委員

今、社会にはさまざまな変革の雰囲気が満ちています。現状を変えるためには、まず自分が動き、変わることが重要です。日本、そして世界にグッドライフを広げていくために、若いジェネレーションの力を感じられるような取組を待望します。

株式会社オープンハウス代表取締役。フリーのインダストリアルデザイナーとして家電等の製品デザインや地域産業のデザイン振興など国内外のプロジェクトに関わる。1991年株式会社オープンハウス設立。サステナブルデザイン国際会議実行委員長、キッズデザイン賞審査委員長などを務める。著書に「エコデザインベストプラクティス100」(共著/ダイヤモンド社)、「エコデザイン」(共著/東大出版会)等。



南谷えり子 実行委員

社会を変えていくためには新しい力が必要です。まだ手探りでも、始めたばかりでも。環境と社会をよくするために何かに取り組んでいる人は、積極的に応募してみたいと思います。地域や世代を問わず、フレッシュな取組に期待しています！

JMギャラリー代表。1950年東京都生まれ。ファッションジャーナリスト、玉川大学芸術学部非常勤講師、元エルジャポン編集長。学習院大学、ニューヨーク州立ファッション工科大学(FIT)卒業。伊藤忠ファッションシステム株式会社東京本社、同社ニューヨーク駐在員、「エル・ジャポン」編集長などを経て現職。

グッドライフアワード ウェブサイト

http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/

グッドライフアワードウェブサイトには、今までの受賞者レポートやムービーなど、「環境と社会に良い暮らし」を実践するヒントがいっぱい! 過去の応募取り組みも、全て見るすることができます。

今すぐアクセス! もしくは

グッドライフアワードの最新情報が手に入る!



Facebookにも、グッドライフアワードのページがあります。こちらにも全取り組みを紹介!

是非アクセスしてください



グッドライフアワード グッドライフのヒント・2015

発行日: 2015年9月15日

発行: グッドライフアワード事務局 TEL: 03-6804-3858 Email: info@goodlifeaward.jp

http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/